

## 経営理念の作り方

経営理念を作成・明文化する場合には、下記の 6 項目を含めて検討することが重要と考えられます。

### 1、何のために経営をしているのか

限りある人生の中で一番費やす時間は仕事の時間です。この時間を有意義に過ごせるか否かでその人の人生の豊かさが決まります。経営の使命感を問うのがこの項目です。使命とはまさに「命」を「使う」こと。であれば「何」に対して大切な命、時間を使うのか、経営の基本的な姿勢をここでは考えましょう。

### 2、どんな会社になりたいのか

あるべき姿、ありたい姿を思い描きます。会社は社会的公器といわれます。社会経済において自社がどのような役割を担っているのか、社会的存在価値、存在意義を明らかにすることが大切です。他社とどう違うのか、差別化が図れているのか、というオンリーワンの視点を持つことが必要です。

### 3、組織の価値観

組織が持つ価値観には、経営者自身の価値観や人生観が色濃く反映されます。謝った価値概念を押しつけていないか、冷静に検討することが大切です。経営にはいろいろな場面での意思決定が必要です。第一線の社員が現場において自分で意思決定をすることもあります。そのときに組織の価値観が不透明、明確でないと現場は混乱し自分自身の価値観で判断せざるを得なくなってしまうます。お客様第一と言いながら見ているのは組織の上層部の顔色、というのでは有名無実化されてしまいます。

### 4、お客様、取引先、仕入先など関係者

これらの関係者とは共存共栄を図ることが必要です。自分の収益だけを追い求め、相手に負担を強いると良好な関係は長続きしません。結局、自社にとっても不利益をこうむることになります。いわゆる互惠価格というラインを保持することが大切です。近江商人の経営理念に由来する「売り手よし、買い手よし、世間よし」という「三方よし」の理念を実践する事です。

### 5、社員との関係

組織の目標を達成するために組織が作られます。時計の歯車に例えると、社長はじめベテラン社員は大きな歯車である一方、入社間もない社員は小さな歯車です。しかし小さな歯車が1つでも欠けると時計は動きません。役割を明確にし、互いに伸ばしあっていく「教育＝共育」という機能を充実させる事がポイントです。

### 6、地域社会への貢献

企業市民という言葉があるように、地域に根差した経営を行うためには、どれだけ地域に密着し、貢献できているのか、という視点を持つ事が大切です。特に雇用機会を創出し、所得レベルを向上させる事は地域経済に対しても大きなインパクトを持つこととなります。